



木曽川下流自然観察会

テーマ 「紅葉・黄葉を楽しもう」

日時 2015/11/8 9:30~12:00

参加者 一般：1名 指導員：2名

このところ秋晴れの日が続いていましたが、この日は無情にも雨となり、138タワーパークの駐車場はがら空きで、園内には人影もまばらでした。

集まった3名で傘を片手に123タワーパークから大野極楽寺公園方面を回りました。

テーマはこの季節にふさわしい紅葉・黄葉です。公園内にはさまざまな樹木が植えられ、葉が色づき始めていますので、このテーマだと見どころがいっぱいです。

深い紅色に色づいたハナミズキには艶のある赤い実がついていました。低木ながら鮮やかな赤色の葉が目を引きくのはドウダンツツジです。大きな葉のモミジバフウ（アメリカフウ）は樹高も高く紅葉がひととき目立ちますが、樹によっては黄色の葉が多いものもあります。この樹には突起のある実がたくさんぶら下がっていました。黄葉したムクノキに絡みついたツタの紅葉も目立ちます。



(モミジバフウ)

ケヤキは黄色になる樹が多いのですが、中には紅く色づくものもみられます。サクラやトウカエデ、ハナノキなどには同じ樹に紅葉と黄葉が混じってついています。

黄葉はイチョウが代表的ですが、ムクノキ、クワ、ユリノキ、クヌギ、ハルニレなどが色づいていました。

丸い葉のカツラは黄色く色づいた後、褐色になった葉が落ちて雨に濡れていましたが、その周りには甘い香りが漂っていました。

花といえば、セイタカアワダチソウ、アレチハナガサといった秋の花の名残が見られましたが、雰囲気よく似たキダチコンギクとヒメジョオンが咲いており、両者を比較して違いを確認しました。

今を盛りと咲いていたのはクスノキ科のシロダモです。実をつけた雌株には実より枝先側にやや小ぶりの黄色の雌花が咲き、近くにある雄株には大きめで黄色の雄花が満開になっていました。晴れていればこの花にハナアブの仲間などが集まっていたでしょうが、あいにくの雨で虫は飛んでいませんでした。



(シロダモの雌花と前期の実)

回っている途中で、「ヒッ、ヒッ」というジョウビタキの鳴き声が聞かれ、エノキの枝にはシメの姿が見られ、冬鳥の季節を実感しました。まもなくツグミやコハクチョウも飛来すると思われるので、来月は「冬鳥を見よう」というテーマで実施します。

<その他観察できたもの>

紅葉：ヤマハゼ、ヌルデ、サルスベリ

黄葉：メタセコイア、コナラ、エノキ、ヒトツバタゴ

実：コブシ、タイサンボク、マテバシイ、カクレミノ、コナラ、ナンキンハゼ、サンシュユ、ガマズミ、ムクノキ、ナンテン、シオジ、コセンダングサ

鳥：セグロセキレイ、カワラヒワ、キジバト、ヒヨドリ、モズ、メジロ（声）